

福島県

(県北地区)

リンゴのヒメボクトウは対策を組み合わせ 防除する

【1. 概要】

- ・リンゴのヒメボクトウは、スターナーネマカーポカプサエ剤による食入幼虫の防除、コッシンルア剤による交信かく乱防除及びジアミド剤による食入期防除を組み合わせた体系防除により被害を抑えることが可能

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・ヒメボクトウの被害は、当県では平成21年に初めて確認されたが、効果的な対策がなく、防除に苦慮していた
- ・微生物農薬のスターナーネマ・カーポカプサエ剤により、すでに樹体内に食入している幼虫を駆除した
- ・交信かく乱剤のコッシンルア剤を処理した
- ・成虫発生初期にフルベンジアミド剤を散布し、ふ化幼虫の食入を防止した

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・交信かく乱剤は広域処理が必要なので、事前に生産者に対する詳細な説明会を実施した

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・福島県では交信攪乱剤によるIPM防除がすでに実践されており、これに影響しない防除体系を組んだため、すみやかな普及が期待される



図1. ヒメボクトウ幼虫

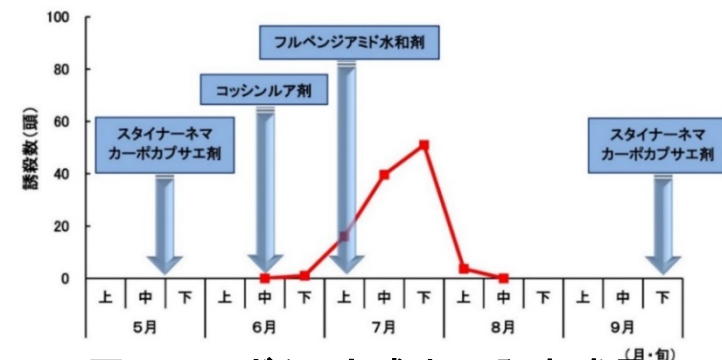


図2. ヒメボクトウ成虫の発生消長
(2014年)と防除体系

【問い合わせ先】
農林水産部環境保全農業課
電話：024-521-7453